

2022年9月20日

各位

SOMPOケア株式会社
SOMPOケア大泉学園 定期巡回
管理者 中村 竜一
電話 03-5933-2646

介護・医療連携推進会議の件

拝啓 平素は格別のお引き立て、ご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

例年、4月～10月に第1回の介護・医療連携推進会議を開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止という観点から、書面での開催とさせていただきます。予定としておりました推進会議の資料を郵送にて配布させていただきますので、ご査収下さいますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

■介護・医療連携推進会議資料

1部

以上

SOMPOケア大泉学園定期巡回・随時対応型訪問介護看護 介護医療連携推進会議 記録

開催日	開催時間	
中 止		

■出席者

名前	所属	名前	所属

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 開会のあいさつ | <input type="checkbox"/> |
| 2 介護・医療連携推進会議の参加者のご紹介 | <input type="checkbox"/> |
| 3 会議目的・サービス概要 | <input type="checkbox"/> |
| 4 実績報告 | <input type="checkbox"/> |
| 5 事例紹介 | <input type="checkbox"/> |
| 6 サービスへの評価・要望・助言 | <input type="checkbox"/> |
| 7 協議会メンバーからのご連絡 | <input type="checkbox"/> |
| 8 閉会のあいさつ | <input type="checkbox"/> |

■記録

会議開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止とさせていただきます。

自己評価・外部評価 評価表につきましては、後日各関係者の機関に郵送し、返送していただきました。

2022年度 第1回 SOMPOケア大泉学園
定期巡回・随時対応型訪問介護看護
介護・医療連携推進会議

- 事業所名 SOMPOケア大泉学園
- 日時 2022年度 第1回 コロナ感染症の影響により書面での開催
- 場所
- 目的
 - ① 適正な運営を行う
 - ② 地域に開かれたサービスとする事で、サービスの質の確保と向上を図る
 - ③ 介護及び看護に関する課題について情報共有を行い、介護と医療の連携を図ること

■アジェンダ

	内容	担当	所要時間	開始時間	終了時間	資料
1	コロナウイルス感染防止のため書面での開催					

事業所概要

①事業所名

SOMPOケア大泉学園

②事業内容

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業

訪問介護事業

夜間対応型訪問介護事業・大泉学園、上石神井地域

障害居宅介護 重度訪問介護

③主なお問合せ受付 曜日/時間

曜日 月曜日～金曜日

時間 9:00～18:00

④全事業職員数(人)

正社員 16人

非常勤 5人

合計 21人

⑤利用者状況(人) 2022年9月現在

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業 25人

訪問介護事業 20人

総合事業 5人

夜間対応型訪問介護事業サテライト 35人

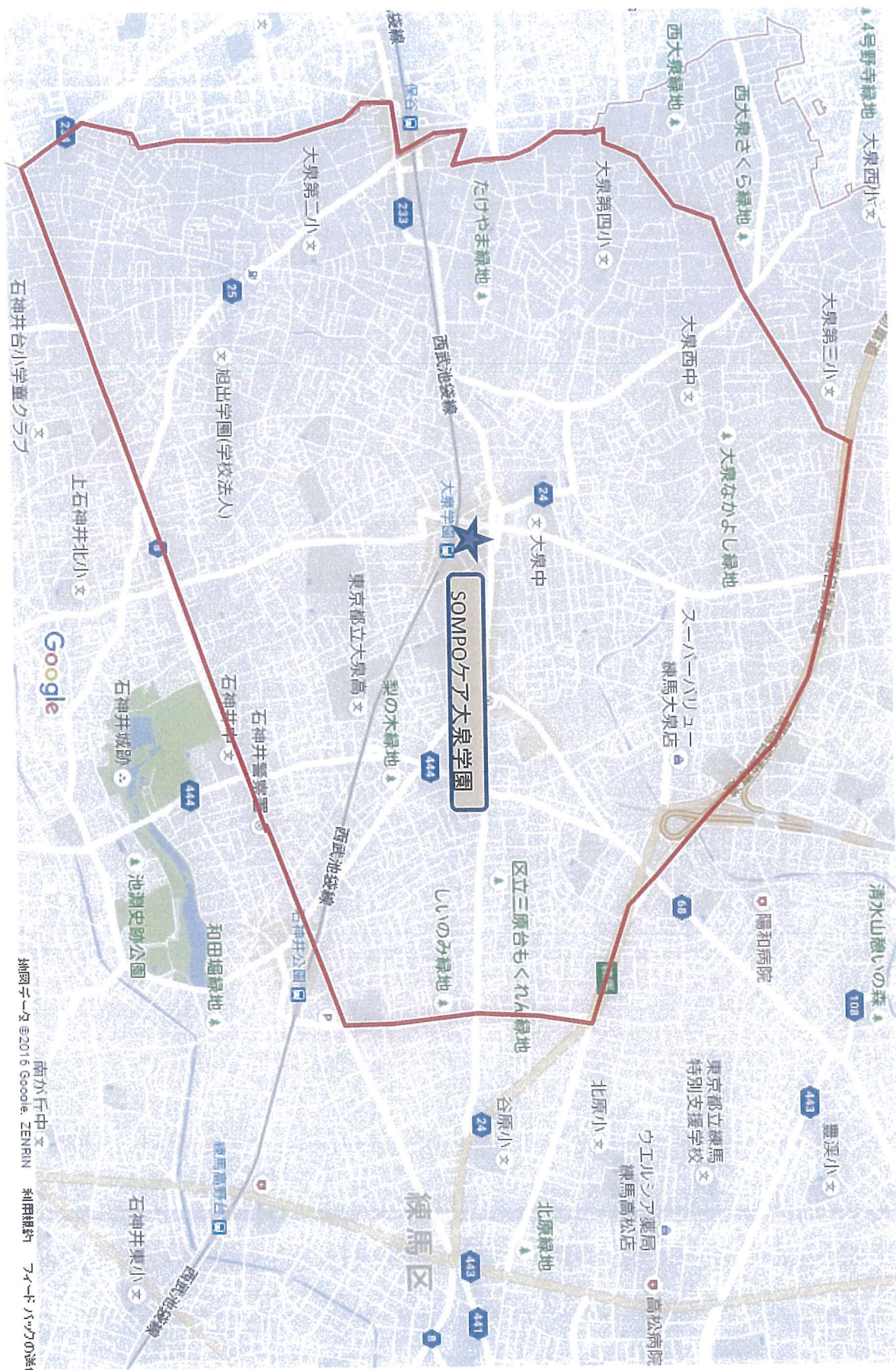
障害居宅介護 重度訪問介護 5人

合計 90人

⑥事業所の特徴

介護度が上がり、さらに多くの介護が必要になった方へは、定額で安心の定期巡回随時対応サービスをお勧めします。介護保険の上限を気にすることなく、住み慣れた自宅で施設同等の介護をお受けいただけます。

訪問エリアは別紙にてご確認ください。

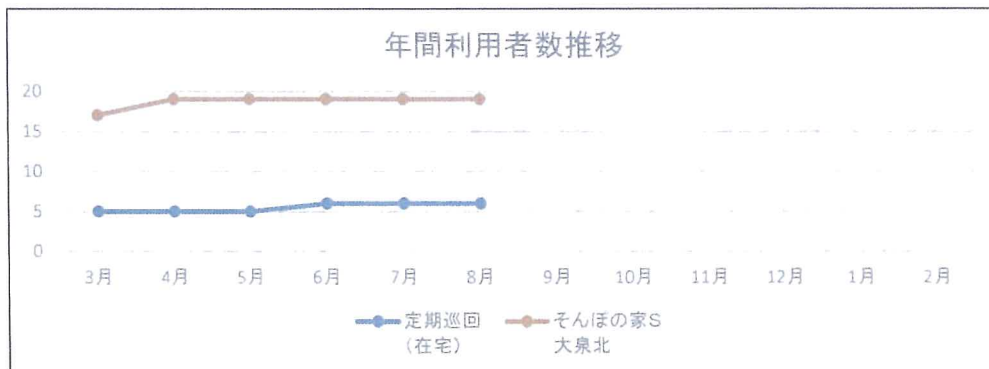


Google
©2016 Google, ZENRIN
南が丘中
利田緑地
マードバハワク0164

定期巡回 大泉学園 集計データ
2022年3月 ~ 2022年8月

【1. 年間利用者数推移】

利用者数	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
定期巡回 (在宅)	5	5	5	6	6	6						
そんぽの家S 大泉北	17	19	19	19	19	19						



新規	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
定期巡回 (在宅)	1	1	1	1	0	0						
そんぽの家S 大泉北	0	2	0	0	0	1						

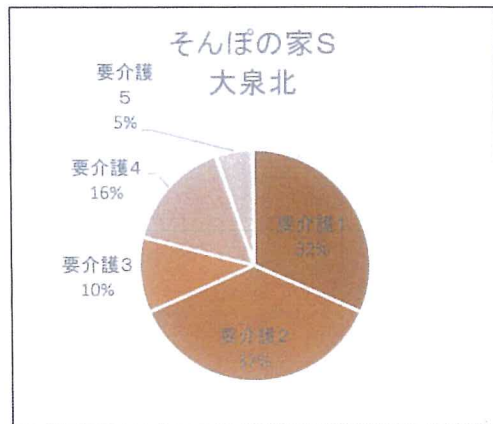
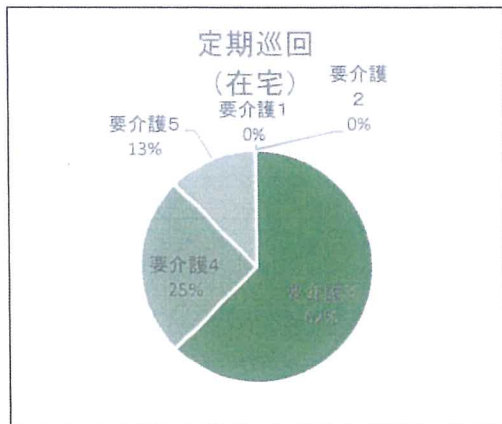


終了	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
定期巡回 (在宅)	1	1	0	0	0	0						
そんぽの家S 大泉北	0	0	0	0	0	1						



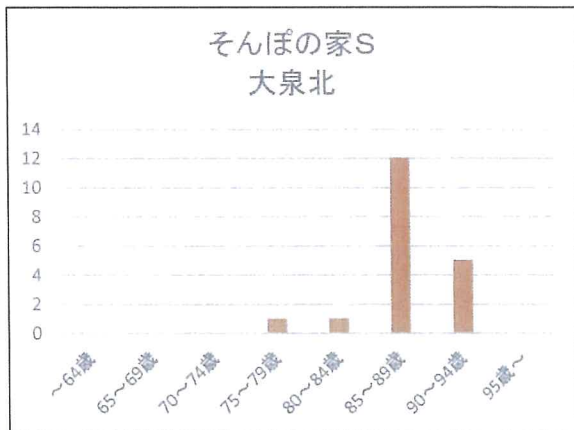
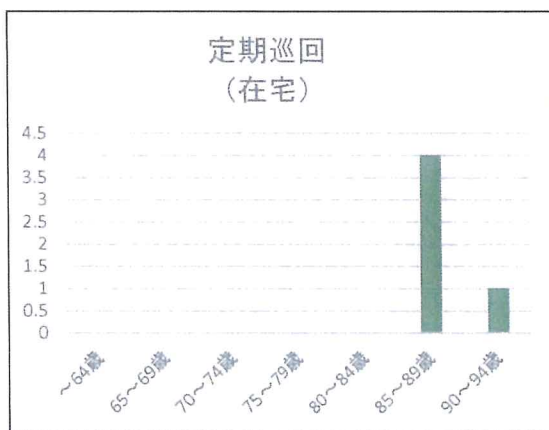
【2-1 要介護度別利用者数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計	要介護度
定期巡回 (在宅)	0	0	5	2	1	0	9	3.10
そんぽの家S 大泉北	6	7	2	3	1	0	19	2.50



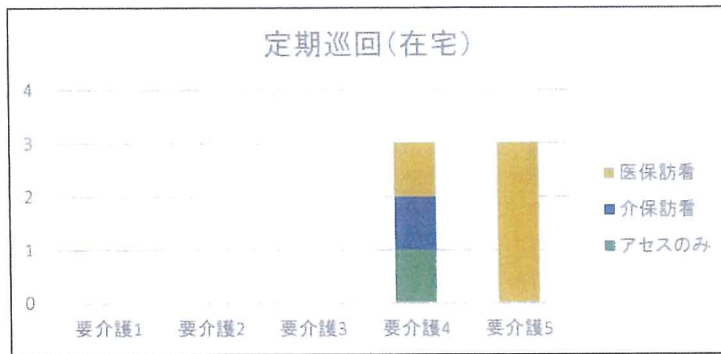
【2-2 年齢別利用者数】

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳～	合計	平均
定期巡回 (在宅)	0	0	0	0	0	4	1	1	6	89.6歳
そんぽの家S 大泉北	0	0	0	1	1	12	5	0	19	88.6歳

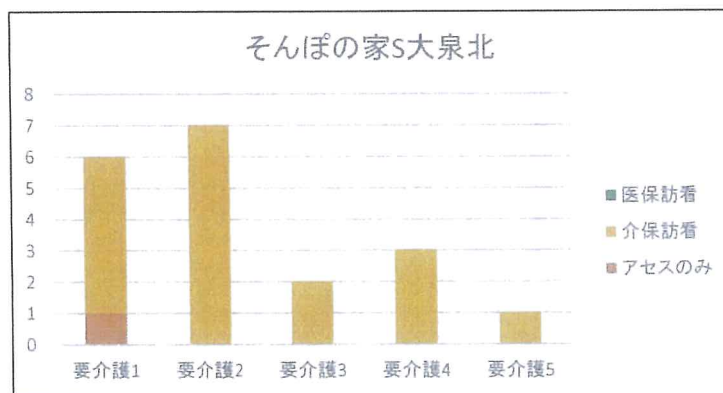


【3. 要介護度別訪問看護等利用者数】

定期巡回 (在宅)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	全体
アセスのみ	0	0	0	1	0	1
介保訪看	0	0	0	1	0	1
医保訪看	0	0	0	1	3	4
合計	0	0	0	3	3	

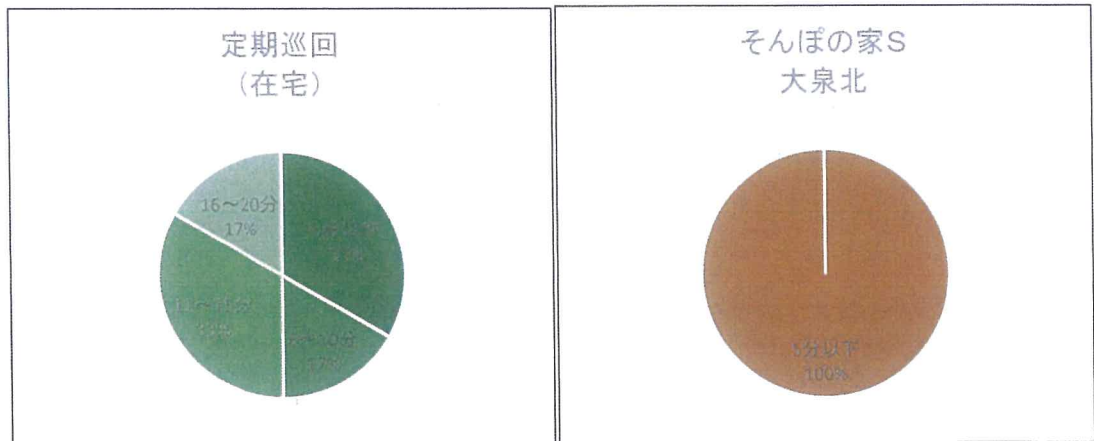


そんぽの家S 大泉北	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	全体
アセスのみ	1	0	0	0	0	1
介保訪看	5	7	2	3	1	18
医保訪看	0	0	0	0	0	0
合計	6	7	2	3	1	



【4. 移動時間（分）】

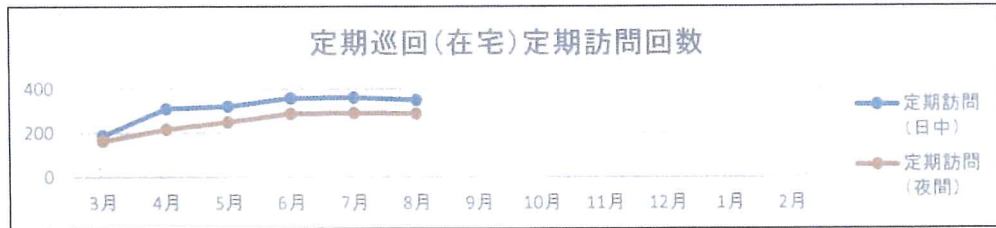
	5分以下	6~10分	11~15分	16~20分	25分以上	合計
定期巡回 (在宅)	2	1	2	1	0	6
そんぽの家S 大泉北	19	0	0	0	0	19



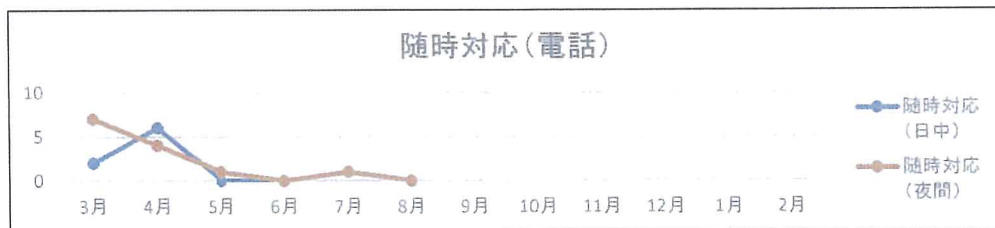
【5. サービス提供回数】

(1) 定期巡回(在宅)

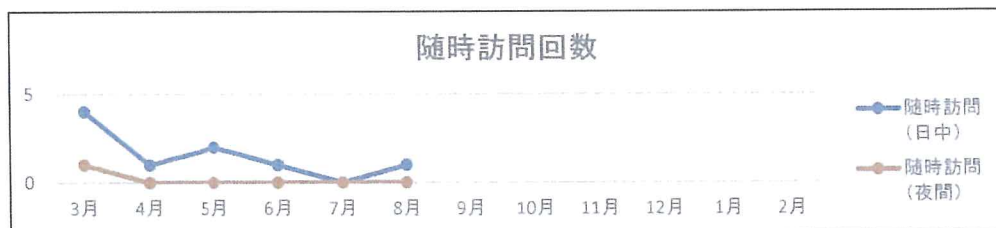
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
定期訪問 (日中)	190	311	322	359	361	350						
定期訪問 (夜間)	164	217	250	288	290	288						



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
随時対応 (日中)	2	6	0	0	1	0						
随時対応 (夜間)	7	4	1	0	1	0						



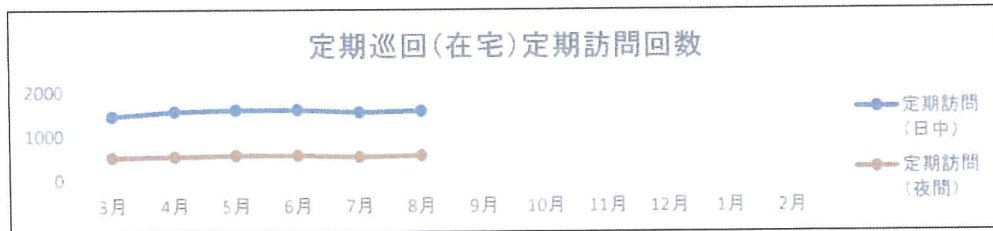
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
随時訪問 (日中)	4	1	2	1	0	1						
随時訪問 (夜間)	1	0	0	0	0	0						



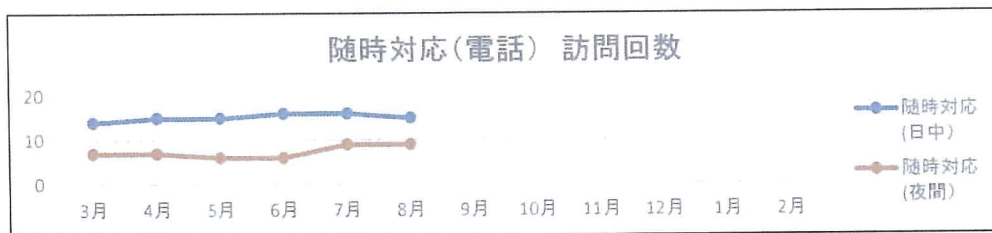
【5. サービス提供回数】

(2) そんぽの家S大泉北

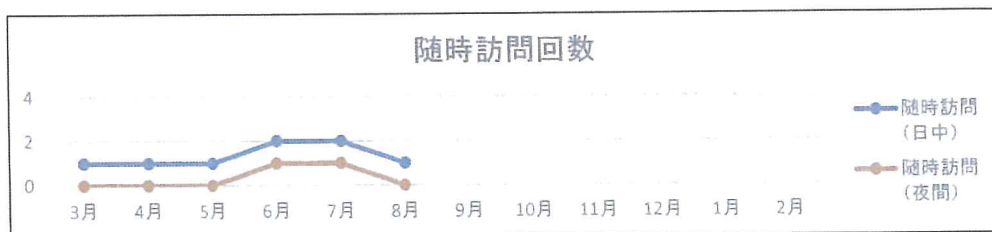
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
定期訪問 (日中)	1460	1567	1606	1606	1548	1578						
定期訪問 (夜間)	523	542	575	575	536	563						



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
随時対応 (日中)	14	15	15	16	16	15						
随時対応 (夜間)	7	7	6	6	9	9						



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
随時訪問 (日中)	1	1	1	2	2	1						
随時訪問 (夜間)	0	0	0	1	1	0						



「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」実績報告

SOMP0ケア大泉学園

運営推進会議 議事録（標準例）

事業所名	SOMPO ケア大泉学園 定期巡回
所在地	東京都練馬区東大泉 5-36-12 森川ビル 2 階 B 号室
開催日時	令和 4 年 9 月 20 日 火 曜 日 : ~ :
開催場所	
出席者内訳	ケアプランニング結い居宅、かしの木ケア居宅、SOMPO ケア上石神井居宅、金のまり居宅、へ資料お持ちし、評価をいただいた。
主な議題	新型コロナウイルス感染症の影響により、書面開催となる。
活動報告	①事業所概要 ②利用実績 ③事例 について書面でお渡しした。
出席者からの評価	別紙評価表参照 概ね「ほぼ出来ている。」の評価をいただいている。
要望、意見および助言	介護度の重い方のサービスイメージはしやすいが、 低介護度の方にどの様にサービス活用が出来るのかイメージ にくい。
その他	
次回の開催予定	日時：令和 5 年 3 月 20 日 16:00 ~ 17:00 場所：未定

自己評価・外部評価 評価表

ABCD評価にて

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況	できていないこと	多く	全くできていない		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				会社理念の「人間尊重」を軸に利用者様の安心安全な生活と、自立に向けての必要なサービスを行わせて頂く。	A
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				定例研修や会議等で説明されている。	A
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			法人内の研修参加は多いが外部研修の参加の確保までは行っていない。	B
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している			○		パート雇用の方などへの研修の機会を設けてはいるが、能力開発までには至らない。	B
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている			○		毎月の看護モニタリングシートや必要に応じて助言をいただいている。	B
(3) 適切な組織体制の構築								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている			○		現在の人員から最適な人員配置を行っている。	B
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている			○		今年度はコロナ感染予防の為、開催には至らず書面にての報告になったが、助言は可能な限り反映させている	C
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている			○		社内システムの一括指示を使用し情報を共有している。	B
(5) 安全管理の徹底								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	○				緊急時の連絡体制を職員に周知している。	A
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				利用者等に係る個人情報の帳票類は鍵付ロッカーに保管、適切に取り扱っている。	A
II 過程評価 (Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている			○		希望に近い生活リズムを提供しているがヘルパーの空き状況によっては希望にこたえられない時もある。	B
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている			○		介護・看護の毎月のアセスメントを実施し共有している。	B+
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている			○		概ねできている。	A

	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている					現象・現状を考えた計画書に留まる。	A
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている					体調不良時など柔軟に提供時間や訪問回数を追加、調整している。	A
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている					ケアの中で変化があれば適宜、反映させている。	B+
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている					介護職、看護職の役割に応じたサービスを提供している。	A
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている					必要に応じて指導、助言を頂いている。	A
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている					契約前、担当者会議等で説明できている。	A
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている					訪問介護計画の目標、内容を説明し、署名を頂く事で認識を得ている。	B
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている					必要があれば適宜、報告、相談を行っている。	A
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている					状況報告書を郵送し情報報告。状況変化した際は相談の上、日時等を決めている。	B
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている					概ね提案出来ている。	A
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている					担当者会議等で状況報告や計画の目標達成状況を報告している。必要時は直接連絡を取っている。	B
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)					有料サービスの提案や、他業態の提案をさせて頂いている。	B
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)					概ねできている。	A
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)					概ねできている。	B
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている					弊社ホームページ上でいつでも閲覧できるようになっている。	A
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を促すため、積極的な広報周知が行われている					コロナ禍の為不十分な所がある。	B

(2) まちづくりへの参画							
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○		職員に対して説明が不足している所がある。	B
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている			○	サ付住宅の利用者数が多く、一般住宅の利用者様からの依頼数が少ない。	B
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)		○		医療連携推進会議やホームページにて事例、実績等の報告を行っているが広い関係者間の共有までは至っていない。	B
実績							
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○		概ねできる。	B
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○			複数回の訪問と必要時のコール対応が安心できる。	A

事例紹介：退院後、元の生活に戻る為に。

利用者情報	年齢	97	性別	男性	要介護度	要介護5
-------	----	----	----	----	------	------

主な疾患 変形性脊椎症・脊柱管狭窄症

身体状況 障害自立度 現在の移動は、車椅子にて押しもらい移動。

生活状況 妻と二人の老々介護。息子様は休みの日に2日/週程度訪問される。

認知状況 認知症自立度 自立 認知症はなく、自己判断できる。難聴。

サービス導入経緯

入院前、脊柱管狭窄症の既往があり、要介護4で屋内での伝い歩きが可能であった。食事は自力摂取していたが、排泄・保清は妻の介助が必要であった。入院前日に息子様が訪問した際にぐったりして発熱があり救急要請。コロナ要請となり保谷医院に入院。酸素化は良好だったが、体動が乏しく食欲も無かった。高Na血漿もあり保液しCOVID-19治療で翌日解熱したが活気無い状態が続いた。N^oリンCa投与が原因の血尿があり、Ba^oテ^oル挿入により尿路感染を起こし、抗生剤投与状態改善し自宅退院となる。

看護サービス：有

<サービス内容・アセスメント等>
 熱が常に37°程度あり、尿も黄緑色で粘度が高い事から、水分補給を毎回行う。
 ベッドからトイレへの移乗の際も自立での起床すら不可。ヘルパーと手をつなぎ起床。
 奥様が服薬を行うのを忘れてしまう為、ヘルパーにて本人の服薬介助を行う。訪看による排便コントロールあり。
 同じ向きで寝てしまい、左右の腸骨に褥瘡のリスク高い。適宜訪看にて処置。

支援体制	月	火	水	木	金	土	日	1日のスケジュール等
6								9:00 起床、排泄、洗面、更衣 服薬、水分補給、DS送り（火曜のみ） 13:00 排泄、水分補給 17:00 排泄、水分補給 21:30 排泄、洗面、更衣、就寝 水分補給
12		通所 サービス						
18								
24								

備考 同居の奥様の認知症の程度が重く、食事以外の対応は難しい。
 水分補給も、本人が拒否すると言うとおりをやめてしまう。息子様は、別居ではあるが仕事の休みの日には訪問して下さっている。

サービスの振り返り<効果・感想>

6月：熱が常に37°程度あり、尿も黄緑色で粘度が高い事から、水分補給を毎回行う。ベッドからトイレへの移乗の際も自立での起床すら不可。ヘルパーと手をつなぎ起床。奥様が服薬を行うのを忘れてしまう為、ヘルパーにて本人の服薬介助を行う。

7月：少しずつサービスにも慣れ、ヘルパーへの認識は問題なし。大きな体調不良も無し。尿の色や粘度も少しずつ改善傾向。熱も36°台も多くなった。サービス時の動きも、徐々にスムーズになっている。

8月：夏場は、本人が冷たい風に敏感で、本人希望で奥様がクーラーを消してしまい熱がこもる事が多く、体調管理・空調管理・水分補給を意識してサービスを行った。トイレでの排泄時に、時折透明なサラサラの尿が出る事があった。

<まとめ>
 夏場を越えたおかげで、熱も36°前半で推移しており、直近のサービス時には尿の色や粘度もほぼ通常の尿が出る事もあった。白濁の尿が出る事はまだあるので、水分摂取は継続。ベッドからの起床は片手で少し引っ張るだけで可能。端座位は長時間可能になってきた。便が緩い時も多いのでコントロールは継続。頭はしっかりしているので、DS以外にも本人の楽しみがあれば良いかと思えます。